



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社フツパー 上場取引所 東
コード番号 478A URL <https://hutzper.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）大西 洋
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO兼管理本部長 （氏名）高木 真一郎 TEL 06-7777-2552
半期報告書提出予定日 2026年8月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	560	19.9	27	△78.7	33	△75.7	22	△81.0
2025年12月期中間期	467	—	130	—	138	—	118	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	2.23	2.08
2025年12月期中間期	7.85	—

- （注）1. 2024年12月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2025年12月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。
2. 2025年10月1日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。
3. 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	2,329	2,110	90.6
2025年12月期	2,355	2,070	87.9

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 2,110百万円 2025年12月期 2,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	59.3	480	21.2	481	24.9	347	14.2	34.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年12月期中間期	10,182,500株	2025年12月期	10,040,000株
2026年12月期中間期	一株	2025年12月期	一株
2026年12月期中間期	10,117,022株	2025年12月期中間期	8,622,831株

(注) 2025年10月1日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで2026年8月12日に同日開示し、開示後速やかに当社IRサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当社は「最新テクノロジーを確かな労働力に」をミッションに掲げ、顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIソリューションの提案、実装を行っております。

当中間会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境等の改善により景気が緩やかに回復している一方で、地政学リスクの高まりや物価上昇への懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く国内AI市場においては、AIの技術進化による顧客ニーズの高まりを背景に、企業の競争力強化や人材不足への対応から幅広い産業でのDX投資が行われており、事業環境は堅調に推移しております。

このような状況の下、名古屋支社への常駐開始やタイ駐在員事務所設立といった国内外におけるエリアの拡大を進めたほか、新型デモ機の製作や展示会への積極的な出展を通じて当社製品の認知度向上及び提案力の強化を図りました。また、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が主導する国内生成AI開発力強化プロジェクト「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／製造業データ等のAI-Ready化に関する研究開発（GENIAC）」に採択されるなど、事業は順調に拡大しております。

この結果、当中間会計期間においては、取引社数139社（前年同期比40.4%増）、売上高560,853千円（前年同期比19.9%増）、営業利益27,694千円（前年同期比78.7%減）、経常利益33,744千円（前年同期比75.7%減）、中間純利益22,556千円（前年同期比81.0%減）となりました。また、売上高に占める継続顧客売上高は294,500千円（前年同期比19.6%減）、ライセンス収入は59,202千円（前年同期比47.1%増）、当中間会計期間末の受注残高は1,039,357千円（前年同期比81.4%増）となっております。

なお、当社は製造業向けAIサービス事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における資産合計は2,329,654千円となり、前事業年度末に比べ25,700千円減少いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産の減少161,252千円、現金及び預金の増加50,617千円、有形固定資産の増加30,575千円、仕掛品の増加27,781千円等によるものであります。

（負債）

当中間会計期間末における負債合計は219,478千円となり、前事業年度末に比べ65,356千円減少いたしました。これは主に、その他の流動負債の減少57,481千円、未払法人税等の減少54,455千円、契約負債の増加44,932千円等によるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は2,110,176千円となり、前事業年度末に比べ39,656千円増加いたしました。これは、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ8,550千円増加、中間純利益の計上により利益剰余金が22,556千円増加したことによるものであります。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ50,617千円増加し、1,945,624千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、81,185千円の収入（前年同期は131,504千円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少額161,252千円、契約負債の増加額44,932千円、法人税等の支払額70,095千円、未払消費税等の減少額66,600千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、46,367千円の支出（前年同期は8,250千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出38,574千円、無形固定資産の取得による支出9,095千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、15,800千円の収入（前年同期は278,222千円の収入）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入17,100千円、長期借入金の返済による支出1,300千円によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年2月12日付の「2025年12月期 決算短信」にて公表しました業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,895,006	1,945,624
売掛金及び契約資産	364,013	202,760
仕掛品	18,613	46,394
原材料	1,696	10,732
その他	26,326	42,502
流動資産合計	2,305,656	2,248,014
固定資産		
有形固定資産	8,288	38,864
無形固定資産	9,457	16,747
投資その他の資産	31,951	26,028
固定資産合計	49,697	81,640
資産合計	2,355,354	2,329,654
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,975	6,529
1年内返済予定の長期借入金	11,020	19,440
未払金	30,922	29,512
未払法人税等	70,095	15,640
契約負債	15,256	60,189
その他	94,946	37,464
流動負債合計	227,217	168,777
固定負債		
長期借入金	46,980	37,260
資産除去債務	10,637	10,689
その他	—	2,751
固定負債合計	57,617	50,700
負債合計	284,834	219,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,150	834,700
資本剰余金	1,166,586	1,175,136
利益剰余金	77,783	100,339
株主資本合計	2,070,519	2,110,176
純資産合計	2,070,519	2,110,176
負債純資産合計	2,355,354	2,329,654

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	467,941	560,853
売上原価	142,147	181,867
売上総利益	325,793	378,986
販売費及び一般管理費	195,498	351,291
営業利益	130,295	27,694
営業外収益		
受取利息	219	1,366
補助金収入	6,853	1,792
受取褒賞金	2,438	1,432
その他	417	1,842
営業外収益合計	9,929	6,434
営業外費用		
支払利息	345	345
株式交付費	1,077	—
その他	18	39
営業外費用合計	1,440	384
経常利益	138,784	33,744
税引前中間純利益	138,784	33,744
法人税、住民税及び事業税	23,401	7,564
法人税等調整額	△3,568	3,623
法人税等合計	19,832	11,187
中間純利益	118,951	22,556

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	138,784	33,744
減価償却費	1,608	10,082
株式交付費	1,077	—
売上債権の増減額 (△は増加)	44,938	161,252
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△40,763	△36,816
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,284	△11,836
仕入債務の増減額 (△は減少)	△36,070	1,554
未払金の増減額 (△は減少)	△2,659	1,069
未払費用の増減額 (△は減少)	510	△335
契約負債の増減額 (△は減少)	10,691	44,932
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,918	△66,600
その他	4,826	11,638
小計	125,579	148,684
利息の受取額	185	1,207
利息の支払額	△404	△404
補助金の受取額	6,853	1,792
法人税等の支払額	△710	△70,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,504	81,185
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,190	△38,574
無形固定資産の取得による支出	△5,059	△9,095
その他	—	1,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,250	△46,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△1,300
株式の発行による収入	278,222	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	17,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	278,222	15,800
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	401,477	50,617
現金及び現金同等物の期首残高	277,731	1,895,006
現金及び現金同等物の中間期末残高	679,208	1,945,624

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社は製造業向けAIサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。